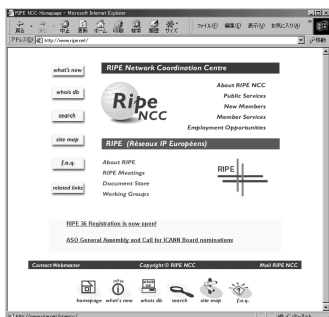


RIPE、RIPE NCC

Reseaux IP Europeens, RIPE Network Coordination Centre

RIPEは欧州のIPネットワーク運営の共同体。RIPE NCCはその下でインターネット資源の管理を行う地域レジストリ



<http://www.ripe.net>

問い合わせ先

RIPE NCC

ncc@ripe.net
+31-20-535-4444
+31-20-535-4445

■組織概要

RIPEは、汎ヨーロッパのIPネットワーク運営に携わる個人または組織の共同体であり、それ自体は明確な会員制組織でもなく、ネットワークを運営することもない。現在は1000を超す組織がこれに参加しており、ネットワーク運営の向上に力を注いでいる。RIPE NCCは、1990年9月から始まったRIPEの活動のひとつである。ここでは会員制をとってAPNIC、ARINと同じように地域レジストリとしてヨーロッパ、中東、アフリカの一部を担当しており、IPアドレス割り振りと、登録サービスを提供している。RIPE NCCは地域レジストリの中でも一番規模が大

きく、55人の職員を有し、2000会員（Local Internet Registry。LIRと呼ばれる）を抱えている。

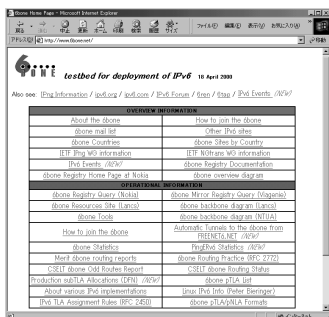
RIPE NCCは、IPアドレス割り振り、AS番号の割り当て、その情報データベース（Whois）の管理、逆引きドメイン名の委任、ルーティングレジストリ、必要情報のドキュメント化、LIRの教育、適正な新LIRのスタート支援などを行っている。この他にプロジェクトとしていくつもの活動をしており、RIPEデータベースの改良を続け、トラフィック測定も始めた。新しいプロジェクトとしてはルーティング情報サービス、ルーティングレジストリの整合などをワーキンググループを作って進めていく予定である。

（Chong Fong 芳子 JPNIC IPアドレス担当）

6BONE

シックスボーン

次世代インターネットプロトコルのIPv6で構築されたバックボーン・ネットワーク



<http://www.6bone.net>

■組織概要

現在のインターネットは、その基本手続きとしてIPv4（Internet Protocol version4）を利用して構築されている。

このIPv4を利用することで顕在化してきたいくつかの問題に対する解答として、IETF IPng-WGでは、次世代インターネットプロトコルの設計を行っている。それがIPv6（IP version6）である。IPv6はIPv4と置き換えられることが期待されており、最終的にはIPv6を利用したネットワークが運用、接続できるようになる必要がある。

6boneとは、IPv6で構築されたインターネットである。現在、6boneはまだ非公式の共同研究プロジェクトであり、IETFのNGtrans（IPv6 Transition）ワーキンググループを主体に運用されている。6bone開始時には、“IPv6 over IPv4

tunneling”と呼ばれる技術を用いた仮想ネットワークをインターネット上に構築することで相互接続を行っていたが、現在では少しずつIPv6による直接接続に移行しつつある。

スタート時の目的は、プロトコルの標準の確認、実装の試験であったが、現在ではIPv4からIPv6への移行に関する実験や運用手順の確認などになってきている。日本は6boneの初期から接続しており、現在でも6boneの中で最も大きな部分を担っている。

また、実験などでも日本は先端を走っていると言える

（許先明 株式会社インターネット総合研究所）

Jump 02 6bone バックボーン図
<http://www.6bone.net/6bone-backbone.html>

6bone-JP バックボーン図
<http://www.v6.sfc.wide.ad.jp/6bone/about.html>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp